

柿「次郎」良味 町長に報告

三重・JA伊勢
玉城 部会

【三重・伊勢】JA
伊勢玉城柿部会は10月



報告後の辻村町長④と
浦田部会長⑤と奥川副
部会長

下旬、玉城町役場に辻
村修一町長を訪ね、10
月18日に出荷が始まっ
た柿「次郎」について
報告をした。

浦田孝司部会長と奥
川直人副部会長、同JA
A、県中央農業改良普
及センターの担当者ら
5人が、辻村町長と対
談した。本年度産の出
来や、産地の抱える課
題、伊勢神宮内宮への
奉納について話し合っ
た。

浦田部会長は「本年
度産は、夏の高温や少
雨の影響で小玉傾向だ
が、おいしい柿に仕上

がった。町と協力し
て、玉城次郎柿の良さ
を多くの人へ伝えたい」と話した。

部会では、部会員72
人が約23畝で「次郎」
を栽培している。同町
の協力で、後継者育成
のための栽培講習会を
開くなど、産地を維持
に向けた活動に力を入
れている。選果基準を
改めるなど、品質の向
上、生産量の安定化を
図る。

「次郎」は11月下旬
まで、名古屋市場や県
内市場へ約140トを出
荷する見込みだ。